

個別委員会の検討状況について

- ・ 下水道未普及解消委員会
- ・ 資源のみち委員会
- ・ 下水道事業におけるストックマネジメント検討委員会

下水道未普及解消委員会

委員会の目的

今後の人口減少等の社会状況の変化を踏まえ、早期に、かつ効率的に、下水道未普及を解消するための新たな整備手法について検討することを目的としている。

審議内容

計画手法について

- ・目標年次の考え方
- ・計画区域の見直しの考え方(他事業との役割分担、連携手法)
- ・集約する範囲の考え方(分散、再編、広域化、等)
- ・フレーム、原単位の考え方

技術的基準について

- ・基準の見直しの考え方
- ・必要な性能(仕様、耐用年数 等)についての考え方
- ・コストの考え方(整備、管理、改築更新)

計画小委員会報告への反映事項

計画小委員会の具体施策に位置付けられた

「人口減少等の社会現象を踏まえた、下水道計画の見直し」、「計画・設計・施工手法等の見直し」について技術的な検討をしており、以下の事項等を提示する予定である。

- ・未普及地域解消に資する技術の集約・整理
- ・地域の実情に応じた計画・設計手法

資源のみち委員会

委員会の目的

「下水道ビジョン2100」の施策方針の1つとして、下水道の有する資源回収・供給機能を積極的に活かして、下水処理場のエネルギー自立や地域への資源・エネルギー供給を目指す「資源のみち」の創出が盛り込まれており、この「資源のみち」の実現に向けて、下水道分野におけるエネルギー利用や地球温暖化対策等の中期的な施策について検討する

審議内容

(審議事項)

- ・下水道におけるエネルギー利用、地球温暖化対策の中期的目標はいかにあるべきか
- ・これらを実現するためには、中期の施策のあり方及びその内容はいかにあるべきか

(審議経緯)

これまで5回の委員会を開催し、

- ・下水汚泥の有効利用と他のバイオマスの受け入れ及び利用推進方策(1～3回)
- ・都市・地域における望ましい資源エネルギー循環と下水道の関わり方及びその具体的な姿(4～5回)

2月9日に第6回委員会を開催し、とりまとめ予定

計画小委員会報告への反映事項

< 中期の整備目標 >

- ・省エネルギーと下水道ポテンシャルの活用によりエネルギー的自立を目指す
- ・下水道ポテンシャルを最大限に活用し、地域への資源・エネルギー供給を目指す。

< 具体施策 >

- ・エネルギー消費、排出負荷の評価、下水道の有するポテンシャルの評価及びエネルギー自立の評価等に関する指標の提示
- ・資源・エネルギーポテンシャルや技術開発等に関する情報を継続的に整理・分析するデータベースを構築
- ・地方公共団体によるエネルギー自立や資源・エネルギー循環に向けたビジョンの策定や、民間事業者等からの提案を踏まえたアクションプログラムの策定に対し、技術情報の提供等の支援を実施
- ・民間事業者が安心して提案できる制度を導入
- ・エネルギー自立や資源・エネルギー循環にあたっての諸課題の解決に向けて、関係省庁・関係部局と連携して制度を整理 等

下水道事業におけるストックマネジメント検討委員会

委員会の目的

現下の厳しい財政制約の下、下水道サービスを安定的に確保していくため、増大する下水道施設を適正に管理し、施設の延命化、改築更新投資の平準化など、管理を体系的に捉え、計画的な取り組みが求められている。このため、新規整備、維持管理、延命化、改築更新までを一体的に捉えたストックマネジメントのあり方について検討する。

審議内容

- ストックマネジメントの基本的な考え方について
- ストックマネジメント手法構築に必要な技術等について
- ストックマネジメント導入のための促進策について
- 下水道事業におけるストックマネジメントガイドライン(案)について

計画小委員会報告への反映事項

計画小委員会の具体施策に位置付けられた、各施策について技術的な検討をしており、以下の事項等を提示する予定である。

- ・適正な機能確保のための施設の点検・診断技術、対策技術
- ・ライフサイクルコスト最小化算出手法